

余呉小中学校からの報告

活動団体名： 余呉小中学校 4年生

活動人数： 15人（教員2名）

取組時間：総合の時間（よごふるさと科）

調査内容

1回目：6月10日（金）高山キャンプ場付近 晴れ
2回目：6月20日（月）旧鏡岡中学校付近 曇り

余呉小中学校は、4年生男子8名・女子7名の計15名が「よごふるさと科（総合的な学習の時間）」に「みずすまし調査隊」として2回の水生生物調査を行いました。

1回目は「やまのこ」での「川の生き物調べ」の中で草野川を調査しました。

用いた道具は、網、バケツ、水槽（大中小）、ざる、白いバット、ピンセット、スプーン、ルーペです。石の裏側には、多くの水生生物が見つかり、子どもたちに大きな驚きがありました。一人ひとりが集めた水生生物について、講師の先生に教えていただきながら生き物集計シートと照らし合わせて分類しました。その際、白いバットは区切りのあるものを使うと、分類が容易にできました。

2回目は、余呉町内旧鏡岡中学校にある、余呉川支流溝谷川で調査しました。1回目と同じ道具を使うことで、水生生物を分類する時に役割を分担するなど、要領良く調査を進めることができました。ヤツメウナギやナゴヤダルマガエルを採集することができ、その生態について



も興味をもつことができました。

調査員の感想

- ・余呉川では、ヤツメウナギがとれました。調べてみると、魚類ではないということが分かって、おどろきました。
- ・余呉川と草野川をくらべると、とれる水生生物が少しずつちがっていました。
- ・余呉川にすんでいる水生生物について、初めて知りました。これからも、余呉川のかんきょうを守りたいと思いました。

捕まえた生き物たち

ガガンボ、ナガレアブ、トビケラ、ヘビトンボ、ヤゴ、カワゲラ、カゲロウ、ヒラタカゲロウ、サワガニ、ナゴヤダルマガエル、ヤツメウナギ

調査のまとめ

「自分たちが住んでいる近くの川に、さまざまな生き物がそれぞれのくらしかたをしている」という気づきが生まれ、地域の環境にも興味や関心を高められることを願って、調査を行いました。

○川の水の中には、魚以外にも、いろいろな生き物がいること

○水生生物の種類によって川のきれいさが分かること

○草野川や余呉町を流れる余呉川の水は、とてもきれいなこと

上記のような気づきがありました。これまで、川に魚がいることは知っていても、その他の生きものがあることを意識していませんでした。しかし、講師の先生から、生きものがそこにいるのは、すみかや食べ物となるほかの生きものがあるからだ、というお話を聞き、川の中で、たくさんの命がつながり合っていることを知ることができました。

活動の様子

【6月10日 草野川事後学習】



【6月10日 草野川事前指導】



【6月10日 草野川での活動】



【6月10日 水生生物分類】



【6月20日 余呉川 活動場所の確認】



【6月20日 余呉川での活動】



【分類は仕切りのあるバッドで】



【交流会でのプレゼンテーション】

